

**耐震
補強**

DCブレース工法

建物を使いながら施工可能な外付け耐震補強工法

特許第3974007号 (財)日本建築防災協会 技術評価取得

特長

建物を使いながら施工可能な 外付け耐震補強

建物の外側から補強部材を取り付けるため、建物を使用しながら耐震補強工事が可能です。

優れた施工性で工期短縮

在来型の外付けブレース補強工法と比べ、スタッド、スパイラル筋および無収縮モルタル打設時の型枠が不要なため施工性に優れており、工期短縮が図れます。

コスト低減

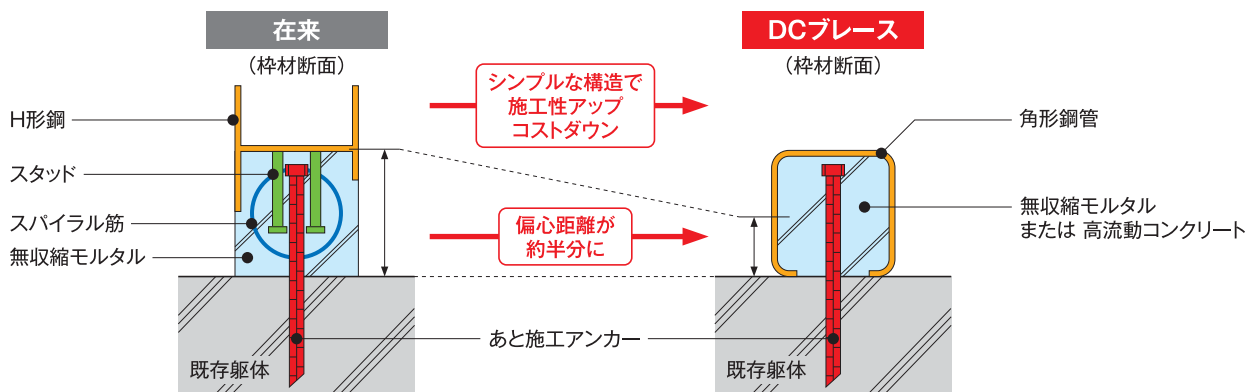
スタッド、スパイラル筋および型枠が不要な上、無収縮モルタルに換えて高流動コンクリートが使用可能なため在来工法と比べコストを低減できます。

優れた性能の間接接合部

在来工法と比べ既存柱からブレース芯までの偏心距離が約半分であるため、間接接合部の性能に優れています。



■ 在来工法との比較



■ 施工手順

